

## 令和6年度第3回習志野市長期計画審議会議事録

1 開催日時 令和7年3月21日（金）午前9時30分～10時30分

2 開催場所 習志野市庁舎5階 委員会室

3 出席者

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| 【会長】日本大学生産工学部建築工学科准教授    | 山岸 輝樹 氏 |
| 【副会長】習志野市議会総務常任委員長       | 高橋 正明 氏 |
| 【委員】習志野市議会議長             | 佐々木秀一 氏 |
| 習志野市議会都市環境常任委員長          | 飯生 喜正 氏 |
| 習志野市議会文教福祉常任委員長          | 市角 雄幸 氏 |
| 習志野市議会協働経済常任委員長          | 関根 洋幸 氏 |
| 千葉みらい農業協同組合理事            | 渡邊 勇 氏  |
| 習志野商工会議所女性会相談役           | 田村 裕子 氏 |
| 東邦大学理学部化学科教授             | 加知 千裕 氏 |
| 千葉工業大学情報変革科学部高度応用情報科学科教授 | 滝 聖子 氏  |
| 習志野市社会福祉協議会副会長           | 鈴木とし江 氏 |
| 千葉銀行津田沼支店支店長             | 宮下 義人 氏 |
| 公募委員                     | 下田 桂子 氏 |
| 公募委員                     | 井上 朋子 氏 |
| 公募委員                     | 宮入 謙 氏  |

|            |     |       |
|------------|-----|-------|
| 【事務局】政策経営部 | 部長  | 菅原 優  |
| 政策経営部      | 次長  | 三角 寿人 |
| 総合政策課      | 課長  | 藤原 友哉 |
|            | 係長  | 佐野 一徹 |
|            | 主査  | 嶋崎 庄吾 |
|            | 副主査 | 大淵 享子 |

#### 4 日 程 開会

第1 会議の公開

第2 会議録の作成等

第3 会議録署名委員の指名

第4 審議

(1) 習志野市基本構想(素案)について

第5 その他(事務連絡等)

閉会

#### 5 会 議 資 料

資料1-1 習志野市長期計画審議会委員への意見照会(R7.2.25~R7.3.6)における委員意見とご意見に対する市の対応

資料1-2 令和6年度第2回習志野市長期計画審議会(R7.2.10)における委員意見とご意見に対する市の対応\_R7.3.13更新

資料2-1 習志野市長期計画(目次、長期計画の策定にあたって)R0703版

資料2-2 習志野市基本構想(素案)R0703版

資料3 答申(案)

#### 6 議 事 内 容

##### 開 会

出席委員は、15名のうち15名であるため、本審議会は成立した。

##### 議 事

#### 第1 会議の公開

本日の会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」により、原則公開となっている。内容により、公開・非公開の判断が必要となった際、その都度諮ることについて、了承を得る。なお、本日の内容に非公開事項になるとと思われる案件はない。

#### 第2 会議録の作成等

会議録の作成等について諮る。会議録については、要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載した上で、非公開の審議事項を除く記録について、本市ホームページ及び市役所グラウンドフロアの情報公開コーナーにおいて公開することについて諮り、了承を得る。

### 第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員の指名について、会長から指名することについて諮り、了承を得る。  
会長から佐々木委員と宮入委員を指名する。

### 第4 審議

#### (1) 習志野市基本構想（素案）について

##### 【資料に基づき事務局より説明】

山岸会長：事務局から説明があった内容について、意見あるいは質問はあるか。

宮入委員：資料2-2 習志野市基本構想（素案）、8ページの「徹底的なデジタル化」について、市民の多様性を含めた表現に修正していただき感謝申し上げます。  
「徹底的」ということでは、スピード感を持って物事を進めていくことが求められると思う。現在、習志野市には電子自治体推進計画が存在していると思うが、当該計画は市のホームページ上で開示されておらず、また、経年に伴う最新状況が反映されていないのではないかと。今後は、他市のようにDX推進計画にシフトしていくのだと思うが、デジタル化に係る展望やスケジュール感を教えてほしい。

藤原課長：現在、本市でも市民サービスの拡充を図るため、対応可能な範囲でデジタル化の推進に取り組んでいる。しかし、まだ足りていない部分や近隣市と比べて不足している部分があると認識している。このような状況下、令和8年度を開始年度とする基本構想ではあるが、行政として今後さらにデジタル技術の活用を加速度的に進めることで、市民サービスの充実、利便性向上と市役所の業務効率化を図っていききたい。また、デジタル技術の活用は、今後、本市が行政を推進する上で職員や予算等の経営資源の効果的な最適配分にもつながり、安定的な行財政運営に資するものと考えられる。そのため、これから策定する基本計画においても、「デジタル技術の活用」をさらに進めていく考え方をもって取り組んでいきたい。

加知委員：資料2-2 習志野市基本構想（素案）、3ページの「交流が広がるまちを育みます」の説明文中の「グランドステージ」、並びに「中心市街地の求心力向上」の説明文中の「ウォーカブルな」というカタカナの表記は、これらがなくても文章の意味は通じている。カタカナ表記がなくても十分伝わるように表現しているところ、記載する必要があるのか疑問に感じている。また、「ウォーカブルな」については、国土交通省のプログラムに基づく内容とすることであるが、16年間継続するものなのか疑問である。カタカナ表記の使い方に関する考えを伺いたい。

藤原課長：「グランドステージ」「ウォーカブルな」のカタカナ表記については、ご意

見のとおり、前段の文章の中でその意味を表現したところである。市民への訴求力を高めるために、このようなカタカナの表記を用いている。市民により分かりやすい表現にした方が良いというご意見を踏まえ、現行通りとするかどうかについて、今一度整理したい。

藤原課長：資料３について補足する。資料３「答申（案）」の第２段落２行目において、「本審議会の審議過程で各委員より出された意見について十分に留意していただきたい。」と記載している。前回審議会や意見照会では、例えば「市内交通の充実」「地域ごとの施策の展開」などの個別具体の政策分野に対するご意見や、外国人・高校生への意見聴取の検討についてもご意見をいただいた。今後、基本構想の実現に向けて推進していく施策や事業を明示した基本計画及び実施計画の中で、反映できるものは反映していくという意図で、このような答申（案）を作成している。

山岸会長：今後の基本計画や実施計画の策定を開始する段階で、このような意見があったということを共有し、引き継ぐ形としていただきたい。

山岸会長：他に質疑はあるか。

（質疑なし）

それでは質疑はこの程度にとどめさせていただく。

山岸会長：前回までの審議内容及び意見照会結果をもとに、答申（案）を作成し、その答申（案）について、本日委員の意見を頂戴した。意見をまとめると、習志野市基本構想（素案）については、概ね了承とするが、本日いただいた委員からの意見について、答申（案）に反映のうえ、後日改めて市長への答申を行うことに決定したいが、これに異議はあるか。

（異議なし）

山岸会長：なお、最終的な答申書及び市長への提出については、私、会長に一任いただくこととしてよろしいか。

（異議なし）

山岸会長：異議なしと認め、習志野市基本構想（素案）については、答申（案）を一部修正のうえ、後日答申を行うことに決定する。

## 第５ その他（事務連絡等）

菅原部長：本日をもって、基本構想の策定に係る審議は終了となるが、これまで貴重なご意見を賜り、感謝申し上げます。今後は、本日いただいたご意見及び３月２７日に手交を予定している、答申の内容を十分に考慮して、基本構想の策定を進めて参りたい。その後、庁議等の庁内の手続き、パブリックコメントを経て、９月の定例市議会において審議いただく予定となっている。

なお、本審議会の委員の任期は本年7月末となっており、本会議が最後の会議となる予定である。委員の皆様には、2年間、大変ご多用の中、審議会にご出席いただき、それぞれの立場から貴重なご意見を賜り、感謝申し上げます。

山岸会長：これをもって、令和6年度第3回習志野市長期計画審議会を閉会する。

閉 会